

受付 番号	被推薦者（推薦を受けた者）・応募者											推薦者（推薦する者）								
	推薦応募 の別	氏 名	性別	年齢	職業	経 歴		農業経営の状況			応募・ 推薦 区域	農業委員 への推薦 状況	氏名、名称・代表又は 管理者氏名	性別	年齢	職業	活動の主 目的	構成 員数	構成員 の資格 要件等	推薦・応募理由
								農業 形態	主な 作物	耕作 面積										
1	応募	吉田 英俊 平郡5429－1	男	68	農業	平成24年10月～ 現在 平成29年8月～ 現在	就農 農地利用最適化推進 委員	兼業	みかん 野菜	30a	第18区	無し	—	—	—	—	—	—	—	高齢化が進み、農作物等が減少され、荒廃地が増える。その状態を少なくするため協力して、現状を保つようにするため、農地利用最適化推進委員に応募いたします。
2	推薦	川井 隆志 柳井366－2	男	64	農業	令和4年4月～ 現在 昭和60年4月～ 現在	就農 柳井市役所	兼業	水稻 野菜	54a	第1区	無し	宗近 史玄	男	74	農業	—	—	—	市役所他これまでの職歴、その後の農業経験等から地域の信頼を得ている。 地域農業（特に柳東地区）や地域の農業情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等の業務に期待、貢献できる。 自ら稲作、野菜等を栽培しており農地の利用集積や集約化について自ら実践している。
3	応募	松原 茂生 神代4496	男	79	農業	昭和40年3月 昭和40年4月 平成21年7月 平成10年4月 令和元年9月 令和2年7月～ 現在	高水高校卒業 日本国有鉄道入社 JR西日本定年退職 JA南すおう総代 JA南山口県総代 農地利用最適化推進 委員	専業	水稻・ 野菜	3.5a	第19区	無し	—	—	—	—	—	—	—	私の関係している神代地区は、10年で農地が約60％位荒地となりました。原因は、高齢化と人口減少です。田の周りに雑草とカズラが茂っています。他人の土地まで草刈り、農地整理ができないのが現状です。水路とか農道整備を協同で管理しないと明日に引き継ぐ土地は全部山になります。私は数人のミーティングに参加していて常に関心を持っていますので、推進委員に応募します。
4	応募	増濱 哲之 遠崎325-1	男	78	農業	平成17年7月～ 平成26年7月 平成29年7月～ 現在	柳井市農業委員 農地利用最適化推進 委員	専業	水稻	5a	第21区	無し	—	—	—	—	—	—	—	地域農業や地域情報に精通しております。 耕作放棄地の未然防止、解消に貢献できると思い応募します。
5	応募	重田 昇 大畠111	男	75	農業	平成12年4月～ 現在 令和5年12月～ 現在	就農 農地利用最適化推進 委員	兼業	水稻 野菜	12a	第20区	無し	—	—	—	—	—	—	—	これまでの農業経験等から近隣の農業従事者と耕作放棄地を作らないよう協力し合います。 いろいろな農地情報等も共有していますこともあり推進委員に応募します。
6	応募	篠脇 丈毅 新庄1134	男	81	農業	昭和42年4月～ 平成17年3月 平成21年1月～ 令和7年12月 平成23年7月～ 平成29年7月 平成29年7月～ 現在	柳井市職員 柳井市議会議員 柳井市農業委員 農地利用最適化推進 委員	専業	水稻	100a	第10区	無し	—	—	—	—	—	—	—	新庄北部には、水田経営に欠くことのできない、かんがい用水路として300年の伝統がある長溝がある。受益地のほとんどが農振農用地となっているが、近年後継者がいないことで、耕作されていない農地が目立つようになっている。 利用増進に務めているが思うように進んでいない。 一方、農業従事者の高齢化が進んでおり、耕作の継続策とともに、長溝の管理は喫緊の課題である。

受付 番号	被推薦者（推薦を受けた者）・応募者												推薦者（推薦する者）							
	推薦応募 の別	氏 名	性別	年齢	職業	経 歴		農業経営の状況			応募・ 推薦 区域	農業委員 への推薦 状況	氏名、名称・代表又は 管理者氏名	性別	年齢	職業	活動の主 目的	構成 員数	構成員 の資格 要件等	推薦・応募理由
								農業 形態	主な 作物	耕作 面積										
7	応募	沖川 博 伊陸2327	男	75	農業	平成19年1月 平成27年2月 令和4年10月～ 現在 令和2年7月～ 現在	農事組合法人長野み のり理事 共和工業 退社 農事組合法人長野み のり代表理事 農地利用最適化推進 委員	専業	水稻	44a	第7区	無し	—	—	—	—	—	—	—	農事組合法人長野みのり理事を長 年務めており地域農業や地域の情 報に精通しており、担い手への農地 集積や耕作放棄地の防止・解消など 農業委員会業務に貢献できる。 以上の理由により農地利用最適化 推進委員に応募いたします。
8	応募	水田 清 新庄2298	男	71	農業	昭和49年4月 平成29年8月～ 現在 令和元年～ 現在	就農 農地利用最適化推進 委員 新庄南地区ほ場整備 事業・換地副委員長	兼業	水稻	35a	第11区	無し	—	—	—	—	—	—	—	新庄南地区は現在圃場整備事業を 県営にて実施しております。当地区 は高齢化が進み農業を継続できる 人が減少しております。農地を守る ために圃場整備を行い担い手による 農業経営が効率よくできるように農 地の集約化・集積化に取り組んでお ります。私は圃場整備の役員として 活動しており、今後の農業を後世に 引きついで行けるようにと思い応募 しました。
9	推薦	川村 達也 柳井7268－ 3	男	65	農業・会 社員	平成2年6月～ 現在 昭和61年7月～ 令和3年3月 令和3年6月～ 令和6年12月 令和2年7月～ 現在	就農 山口県農業共済組合 (有)ジェイエイ南グ リーン 農地利用最適化推進委員	兼業	水稻	200a	第3区	無し	菅岡 利夫	男	70	農業兼 団体役 員	—	—	—	・農業共済組合職員として長年勤務 し、地域農業や地域の情報に精通し ているとともに、地域内の団体の役 員としても活躍しており、地域からの 信頼を得ている。 ・農地利用最適化推進委員として6 年の経験を有しており、担い手への 農地集積、耕作放棄地の未然防止・ 解消等農業委員会業務に貢献をし ている。